この瞬間を笑顔に！みんなで支えて叶えたい

横浜こどもホスピスプロジェクト

Vol. 8
Dec 2021

ゴールなき明日へ　A JOURNEY WITHOUT AN END

認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト 代表理事　**田川 尚登**

いつもご支援いただきありがとうございます。

建設費などで多くの方々に応援していただいた『横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち』が完成しました。娘との闘病生活から始まった物語が形になりました。2003 年から始めた NPO 活動。医療者への感謝の気持ちから湧きだし、入院生活等の小児医療環境改善を目的に始めた活動は、私の人生を大きく変えていきました。2008 年の患者家族滞在施設『リラのいえ』の建設の時は、建設資金を集めるのに医療者の方々が多く関わり神奈川県とのつながりを生かし、活動を始めて 3 年半で開設できました。横浜こどもホスピスプロジェクトは、同じ夢を描いていた石川好枝さんの思いを引き継いだ形で進んでいきました。大磯町に日本で初めてのこどもホスピスを作る建設準備活動がとん挫したのもこの頃でした。活動を始めた 2013 年頃は、まだ医療者にも理解がなく、プロジェクトを進めることに異論が多かったです。医療関係者から医療を諦める居場所と思われ抗議も受けたことも何度もありましたが、イギリスのこどもホスピスの活動を知り益々必要性を感じていきました。子どもの人生の終末を笑顔で過ごせる大切な居場所として地域から認知されています。実際にドイツのデュッセルドルフのこどもホスピスを見学した時に子ども達が「こどもホスピスはこの町の誇りの場所です」と答えていました。短い人生でもいのちは尊重されるべきだと教えられているそうです。こどもホスピスを利用した日本人からお話を伺うと医療保険や介護保険で患者家族は守られていて、さらに地域のボランティア組織からも見守られ、公園などでも「何かお手伝いできることありませんか？」と日常的に声掛けがあるそうです。小児緩和ケアが町に行き届いていて家族の孤立はないと思いました。

『横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち』もようやくスタートラインに立つことができました。これからはこのような地域社会づくりのハブとして“こどもホスピス”が位置付けられるようにしっかりと取り組んでまいります。今後の安定した運営のためにさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

I thank you for your consistent assistance and appreciate it very much.

The construction of "Yokohama Children's Hospice - UMI TO SORA NO OUCHI (a home of sea and sky)" was completed with supports by many people.

A story which had begun with my daughter's journey against her illness was taken a step and resulted in the start of NPO activity in 2003. My appreciation to medical professionals led to the action, aiming to improve pediatric medical conditions and it changed my life drastically.

Thanks to countless medical workers' involvements as well as network with Kanagawa prefecture, it took only three years and a half to raise the fund to open an accommodation facility for the patient's family, "Lila's home" in 2008. In the meantime, Yokohama Children's Hospice Project went forward by taking over a dream of Ms. Yoshie Ishikawa, which was the same as ours, to establish children's hospice. And it was the time when preparations for Japan's first children's hospice construction in a town of Oiso was held back.

At the beginning of the project in 2013, there were disagreements about our project due to a lack of the awareness of hospice in general including medical professionals. Moreover, we received objections from medical workers on several occasions because they thought that hospice is a facility where medical treatment is given up. However, we were encouraged by learning about activities in the U.K., and we reassured needs of hospice. Community in the U.K. recognizes the hospice as an important place for children to spend time with smile at the end of life.

When I visited children's hospice in Dusseldorf, Germany, children there mentioned they are proud to have a hospice in their town. They are being taught even if child's life is limited, it should be respected. According to a Japanese family who stayed at this hospice, medical and nursing insurances secure the family. In addition, volunteer organizations in the community watch over people using hospice and they are asked if support is needed on daily basis. I felt that the family is not isolated as pediatric palliative care is well provided and understood in the town.

"Yokohama Children's Hospice - UMI TO SORA NO OUCHI (a home of sea and sky)" is at starting line, finally. I will strive for our hospice to be positioned as a hub for enhancing the local community.

And I would appreciate for your further support to stabilize operations of the hospice towards the future.

かながわボランタリー活動推進基金２１協働事業負担金事業

落成式＆記念イベント（2021年11月21日）

「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」落成式＆記念イベントを開催いたしました。

横浜こどもホスピスプロジェクトは、地域の関係者やボランティアの皆様など、たくさんの方々にお力添えをいただきながら、活動を進めてまいりました。この度、おかげさまでようやくスタートラインに立つことができました。

「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」が、生命にかかわる子どもと家族の楽しい時間や笑顔と愛のあふれる場所、家族の楽しい思い出の数々を提供できるよう、努めてまいりたいと思います。

今後も制度には依拠せずフリースタンディングで活動を続けていきますので、皆様からの引き続きのご支援が大きな力となります。一層の努力を尽くしてまいる所存ですので、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

＜落成式＞

- 開会の辞
- 代表挨拶
  認定NPO法人横浜こどもホスピス
  プロジェクト　代表理事　田川 尚登
- 来賓祝辞
  神奈川県知事　黒岩 祐治 様
  横浜市長　山中 竹春 様
  株式会社横浜銀行
  代表取締役頭取　大矢 恭好 様
- 謝辞　設計者・施工会社挨拶
  株式会社 岡田新一設計事務所
  代表取締役社長　津嶋 功 様
  大洋建設株式会社
  代表取締役社長　黒田 憲一 様
- テープカット
- 閉会の辞
  認定NPO法人横浜こどもホスピス
  プロジェクト　副理事長　熊澤 美香

＜記念イベント＞

司会：大和田 美帆 様

- オープニングアクト（演奏）
  認定NPO法人あっちこっち　様
- 開会
- 代表挨拶
  認定NPO法人横浜こどもホスピス
  プロジェクト　代表理事　田川 尚登
- インタビュー
  設計者 株式会社 岡田新一設計事務所
  代表取締役社長　津嶋 功 様
  横浜市健康福祉・医療委員会 委員長
  高橋 のりみ 様
  参議院議員 自由民主党
  自見 はなこ 様
- お祝いメッセージ
- 施設紹介（オンラインツアー）
- スターライツ歌唱
- 閉会

Message from Miho Ohwada, Yokohama Children's Hospice Official Ambassador

落成式の司会を終えて

応援アンバサダー　**大和田 美帆**

田川さんをはじめ、多くの方の「想い」が繋がって横浜こどもホスピスが完成したのだと実感しました。自分のことだけでも精一杯な世の中で、みんなが誰かのことを想像して行動している。その優しい気持ちの連鎖の中にこれから参加する子どもたちやそのご家族の笑顔が想像できる明るい施設ですね。設立から運営へと形を変えていく横浜こどもホスピスをこれからも微力ながら応援させていただければと思います。
完成、おめでとうございました！
そしてこれからもよろしくお願いします。

Attending the opening ceremony of Yokohama Children's Hospice as a presenter, I realized that this hospice had come true with "hopes and passions" of a lot of people including Mr. Tagawa, the director of this hospice project.

In the world where we are often busy with our own affairs, there are still so many who think of others and put their needs before their own.

This hospice symbolizes the chain of kindness. I can easily imagine the shining smiles of children and their families spending precious time here in this hospice. While Yokohama Children's Hospice is moving forward from its establishment to the operation, I would like to continue supporting the hospice at my best.

Congratulations on the completion of the building! I am very excited to keep on working together with you.

休眠預金活用事業

壁画塗装ワークショップ（2021.11.7）

建物の最後の仕上げとなる１階の玄関からフロアの壁画塗装をおこなうワークショップを開催しました。ワークショップは，ゲンスラー社員の皆様と正会員の方など関係者の皆様と１日がかりでおこないました。時間をずらしながら 42 名の方にご参加いただきました。まずは、ゲンスラー社の皆様が、プロジェクターでデザイン画を投影し、鉛筆で丁寧に下書きをしてくださいました。そして午後から、いよいよ塗装開始です。皆さん「楽しい！」と笑顔で、刷毛やローラーで丁寧に色を塗ってくださいました。そして 17 時に、真っ白な壁に優しく柔らかな色で「ハーモニー」のデザイン塗装が完成しました！多くの皆様のご協力により「うみとそらのおうち」に彩りと温かさが加わり感激しました。ご協力、ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

〈参加者の感想〉

Helen Lung　**M. Arthur Gensler Jr. & Associates, Inc.**

The workshop was really fun! It was great bonding time between everyone who participated, and allows everyone to experience the space even though we might not use them. I am happy to learn that the children and their families will have a great stay in the Hospice because everyone really put their hearts into planning and designing a comfortable and loving space.

このワークショップは本当に楽しかったです。私たちは使わないとしても、参加者全員の絆を深めることができたし、みんなで空間を体験することができました。みんなが本当に心を込めて、快適で愛のある空間を計画・設計してくれたおかげで、子どもたちとその家族がホスピスで素晴らしい滞在ができることを知り、嬉しく思っています。

クラウドファンディング

素敵な家具やおもちゃで子どもとご家族に笑顔を届けたい！

利用する子どもと家族の笑顔や癒しにつながる空間を多くの方々の思いとともに完成させたい、そんな気持ちで 10 月１日～31 日までの１ヶ月、クラウドファンディングを行いました。

大きなブランコやぬくもりのある木のおもちゃ、リラックスできる椅子などの購入費として 150 万円を目標金額に設定しスタートしたところ、わずか 10 日で達成！ 最終的には 2,474,000 円、185 名もの方からご支援いただくことができました。

感謝してもしきれないほどのたくさんの優しさをいただきました。本当にありがとうございました。

大きなブランコは１階ホールに設置し、これから利用する子どもたちの遊ぶ姿が目に浮かびます。

うみとそらのおうち 施設案内

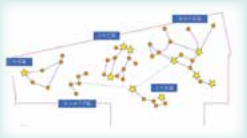
1階

1 ドネーションボード

玄関を入ると大きな寄付ボードがあります。
うみとそらのおうちは、皆さまのやさしさ（ご寄付）によって支えられています。

2 みんなのホール（よしえホール）

ブランコとハンモックがあり、みんなで遊んで楽しむことができます。天井には、５つの星座と流れ星をイメージしたライトがあります。「やぎ座」「ふたご座」「おおぐま座」「こぐま座」「カシオペア座」の星たちが横浜こどもホスピスを見守ってくれています。



3 いるかの部屋（相談室）

ゆっくり個室でおしゃべりしたい時などに、利用できる部屋です。参考になる本やパンフレットがあります。

4 ぺんぎんの部屋（事務室１）

スタッフの部屋です。
扉はいつも開いています。

5 くじらの部屋（居間）

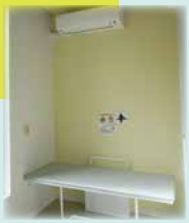
少しのんびりしたい時に、体を休めれられる部屋です。
リラックスできるソファを準備しています。

6 しろくまキッチン

子どもも大人も一緒にお料理ができるように、高さの違うキッチンがあり、車いすのままでも利用できます。
おかし作りにチャレンジしたり、友達を呼んで小さなパーティーをしたり、みんなで楽しく食卓を囲むことができます。

7 みんなのトイレ

多目的シートがあり、車いすのまま利用できるトイレや、こども用のトイレがあります。



8 海が見える庭

シンボルツリーのヤマモモの木があり、初夏に赤くて小さな実をつけます。
芝生には、みんなで一緒に遊べる大きなブランコがあります。
天気が良い日には、家族でピクニックをしたり、釣りもできます。

2階

9 あそびホール（さなえホール）

２階のホールは、部屋を利用する方々が、のんびり団らんしたり、ごろごろ過ごしたり、自由に遊んだりできるプライベートの空間になります。

10 灯りのおうち

家族で過ごすひと時を優しく包み込む手作りランプのおうちです。部屋を利用する際に、好きなランプを選んで、灯りをともすことができます。

11 ステンドグラス

大きな窓には、「うみとそらのおうち」をテーマにした大きなステンドグラスが輝いています。

12 たいようの部屋（部屋２）

家族で利用できる少し広めの部屋です。隣のお風呂、トイレへの移動がリフトでできます。テレビとミニキッチンもついています。
窓からは、心地よい潮風を感じられ、家族でのんびり過ごせます。

13 うみそらの湯（みんなのお風呂）

家族みんなで入れる大きなお風呂です。お風呂の天井には、リフトレールがあって、左右の部屋から、リフトでらくらく移動ができます。
また、お風呂の壁いっぱいに「宇宙や海の生き物たち、花火など」の映像を流すことで、五感を刺激しながら楽しんだり、リラックスできる時間や空間をお届けします。

14 にじの部屋（部屋１）

お風呂の後や利用の際の休憩場所として、家族で利用できる部屋です。
ベッドからお風呂につながるリフトもあります。

15 つきの部屋（部屋３）

ミストサウナのある部屋です。癒しのサウナに入ったり、ごろごろと休憩ができる場所です。

16 ひみつきち（事務室２）

２階で安心して過ごしていただくために、スタッフがいる部屋です。

家族とともに過ごすいえ

ともに過ごす場所と
ともに過ごす時間をつくる
あなたが必要とする場所で
あなたを必要とする時間を過ごす

縁あって、このプロジェクトに関わらせていただき足掛け7年になります。田川代表理事を初め多くの皆さまの思いを建築という形にする作業を行って参りました。敷地選びからこどもホスピスのイメージづくり、設計から監理まで関わるなか、今までにない出会いと経験をさせていただきました。いろいろな出会いを育んでいく生きた場所であることを願っています。

株式会社岡田新一設計事務所　建築家　津嶋 功

横浜こどもホスピス

うみとそらのおうち

おうち物語

みんなの思いがひとつになって
「うみとそらのおうち」ができました。
多くの方に支えていただきながら、
あたらしい物語がはじまります。

内装デザインコンセプト

LIVE IN HARMONY

家族の愛、自然の心地よさ、日々の安心を仲間と一緒に感じられる場所とコミュニティーをつくるために、「LIVE IN HARMONY」のコンセプトを掲げ、デザインをいたしました。
かかわるすべての人々にとって、楽しみながら安心して生活できる環境づくり、そしてそれをサポートするコミュニティーづくりにお力添えできれば幸いです。

ゲンスラー・アンド・アソシエイツ・インターナショナル・リミテッド

お庭のブランコ

フレディ freddie

ちがいを認めあいながら
みんなで遊んでほしい。
そんな願いをこめて。

絵本『葉っぱのフレディ・いのちの旅』
作：レオ・バスカーリア　訳：みらいなな訳

主人公のフレディは、葉っぱは、似ているけれど、ちがいがあることやそんなみんなと風でくるくる踊って遊ぶことが楽しいことに気づきます。物語のこのシーンをイメージして遊具が生まれました。

エルシ（フレディ）　株式会社アネビー

みんなのお風呂
うみそらの湯

スヌーズレンbathroom ～映像で旅しよう～

「子どもたちは楽しく、大人は癒される時間と空間」を意識し、家族で過ごすあたたかな時間を想像して創りました。こどもホスピスで過ごす優しく、穏やかな時間に少しでも彩りを加えられたら嬉しいです。
映像は iPhone などを使って好きなものを投影することもできます。家族で相談してぜひ好きな映像を楽しんでください♪

SnoezeLab.
（スヌーズレン・ラボ）
子どもたちの well-being を、アートの「感性」と発達の「理論」両側面から捉え、人的環境・物的環境面から支えていく」ことをミッションとして活動しています。

灯りのおうち

手作りのやさしい灯りがこころを灯します

オンラインで手作り照明教室を開催。皆さん初めてのあかり作りですが、「私の作ったあかりが『こどもホスピス』に 灯るなんてすごくうれしい！」との声とともに、個性豊かな作品が全国から集まりました。あかりは人の心を癒す効果があります。このあかりを見て、お子さんとご家族がほっとできますように。

あかりバンク（照明塾）

病気とともにある子どもや家族が、遊び、学ぶ。
みんなでつくる第２のおうち。

ご利用案内

ご利用対象：LTC※1のこどもとそのご家族
ご利用時間：10:00～17:00（事前予約制）
休　館　日：火・水
年 末 年 始：12/29～1/3 休館（予約に応じて相談）
※見学などをご希望の方は、お問合せ下さい。
※1. LTC＝生命にかかわる病気や状況のお子さんとそのご家族

アクセス

・京浜急行「金沢八景」駅から徒歩 15 分
・横浜新都市交通金沢シーサイドライン
「金沢八景」駅徒歩 15 分
・関東学院循環バス「関東学院東」下車徒歩 1 分
※京急金沢八景駅を背にして平潟湾沿いに
モノレールの線路を見ながら直進してください。
平潟橋を渡り、右に 4 軒目が「うみとそらのおうち」です。

お問い合わせはこちら
認定 NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト
〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-49-5
TEL♪045-353-3153 mail✉contact@ykh.jp
https://childrenshospice.yokohama

うみとそらのおうち　ご利用案内

うみとそらのおうちとは・・

「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」は、生命にかかわる病気や状況で治療や療養生活を送るLTC* の子どもと家族の「家族の時間」を支え、地域とのつながりを育むコミュニティ型の通所施設です。

暮らしの中で実現が難しかった“遊び”や“学び”など、さまざまな体験を提供し、子どもたちの日々の成長や笑顔を支えて叶える「第 2 のおうち」を目指します。

（＊ Life-threatening conditions: 生命にかかわる病気や状況）

私たちが目指す３つのこと

- 子どもと家族が地域の中で生き生きと過ごせる場所を目指します
- 療養生活を送る子どもたちの教育（遊び・学び）に貢献し、子どもたちの「やりたい」「やってみたい」を叶える場所を目指します
- 子どもと家族、地域がつながる、新しい地域のコミュニティのかたちを目指します

ご利用対象者さま

本施設は、生命にかかわる病気や状況（Life-threatening conditions：LTC）によって治療や療養中心の生活を送る子どもと家族を対象としています。

（対象例）

- 小児がんで入院治療又は在宅療養中
- 先天性心疾患で入退院を繰り返している
- 進行性の筋ジストロフィーなどの神経筋疾患で長期の療養生活が必要

LTC の疾患や病態は下記に含まれるものです。

1. 根治療法が奏功することもあるが、うまくいかない場合もある病態（小児がん、心不全など）
2. 早期の死は避けられないが、治療によって予後の延長が期待できる（神経筋疾患など）
3. 進行性の病態で、治療はおおむね症状の緩和に限られる（治癒が見込めない小児がん、代謝性疾患、染色体異常など）
4. 不可逆的な重度の障害を伴う非進行性の病態で、合併症によって死に至ることがある（重度脳性麻痺、重度の神経障害など）

登録・施設利用料

登録料　　1,000 円（初回登録時の事務手続き料）

施設利用料（日中利用）1 家族 1,000 円／回

※光熱費、材料費、リネン代が含まれます。

サービス提供内容

子どもと家族の個別性に配慮し、病気や体調などそれぞれの状況に応じた日中活動のプログラムを看護師や保育士が作成し提供します。

希望をうかがいながら、みんなのホールやブランコなどのインクルーシブ遊具、家族で入れる入浴設備など、施設内の様々な設備を用いて「家族の時間」を支えます。

かながわボランタリー活動推進基金２１
協働事業負担金事業

第１回病児と遊びの研究会
(2021.7.3)

今年度第１回目の病児と遊びの研究会を開催しました。

講義では、感覚に働きかける遊びについて、講師の小長谷秀子さんからお話をいただきました。病院での遊び、五感に働きかける遊びについて、実践を交えて教えていただきました。

遊びのワークショップでは参加者の皆様と一緒に海のオイルモーションとバスボム作り。オンライン上ではありましたが皆様とのつながりを感じながら学ぶことができました。

積水ハウスマッチングプログラム
こども基金　長期プロジェクト助成事業
休眠預金活用事業

小児緩和ケアネットワーク カンファレンス in YOKOHAMA

生命にかかわる病気のお子さんやご家族の望む過ごし方が地域で実現できるように、小児緩和ケアにかかわる地域の医療・福祉・教育・行政の関係者や当事者のみなさまで、カンファレンスの定期開催をはじめました。毎月第二水曜日の夕方に、小児緩和ケアの教本を用いた勉強会や情報交換会をしています。

これまでは、「コミュニケーション」や「悪い知らせをどう伝えるか」などをテーマとしました。ご参加くださったどのお立場の方にとっても、「どうするべきか」と悩み、「これでよかったのか」と思い出される場面が一つはあったのではないかと思いました。頭と心が動かされ、学びを深める時間となりました。

Your Yamathon 2021（2021.10.1～12.31 開催）

東京ヤマソンは、３～４人で一組のチームを組み、12 時間以内に JR 山手線の全 29 駅を踏破するファンドレイジングイベントです。

2019 年に横浜こどもホスピスプロジェクトが寄付先団体として選ばれました。参加費はすべて当団体への寄付となります。残念ながら昨年度は新型コロナの影響で中止となってしまいましたが、今年度は少し形は変えて、Your Yamathon 2021 として 10/1～12/31 まで開催しています。（参加受付は終了しています）

いつでも都合の良い日にどの駅からスタートしてもOK！ 今年度は私たちも横浜こどもホスピスチームとしてハーフコースに参加してきました。上野駅からスタートし、東京の景色を満喫しながら歩くこと９時間。ゴールの渋谷に着く頃にはすっかり日も暮れていました。

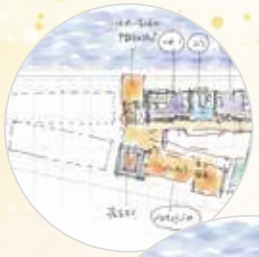
こうやって参加されている皆さんが、横浜こどもホスピスに思いを馳せながら、楽しく歩いてくださっていることを、スタッフみんなで経験できたことが幸せな１日でした。来年は、是非皆さんと一緒に歩きたいです！

東京ヤマソン HP　https://tokyo-yamathon.com/en/

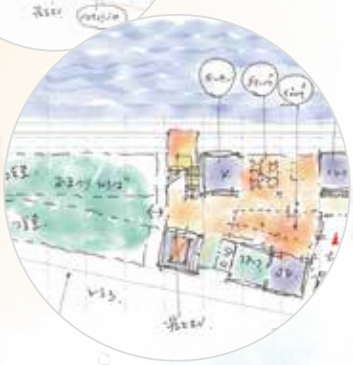
うみとそらのおうち

完成までの７年間の変遷

2015.01



2019



沿革

2014 年 8 月　「小児ホスピス設立準備委員会」発足
2017 年 7 月　「NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト」設立
2019 年 11 月　横浜市「生命を脅かす病気の子どもと家族の療養生活支援施設整備運営事業者」選定

お祝いメッセージ

応援アンバサダー
ホスピタルペインター
ニィーナ

田川さん、そして横浜こどもホスピスプロジェクトのご関係者のみなさま、この度は、いよいよ！とうとう！『横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち』開設！本当におめでとうございます！
愛とエールを込めて♡

応援アンバサダー
昭和大学大学院
保健医療学研究科准教授
副島　賢和

皆さん！いよいよ！いよいよですね。横浜こどもホスピス～うみとそらのおうちが開設します！
多くの方のご尽力によりこの日が来ます。とってもうれしいです。これからも見守っていただくとともに子どもたちのためにご協力いただけると幸いです。

あかはなそえじ　o(¯・●・¯)o

支援者
久保田　龍士・綾

ホスピス開所おめでとうございます。
ホスピスの場所にはかつて主人が大学の４年間を過ごした寮があり、私たち夫婦にとって楽しい思い出のある場所です。
利用者のお子さんおよびご家族にとってもこの場所が、たくさんの楽しい体験を思い出すよすがとなりますよう願っております。

2019

2020.08

2021 年 11 月 21 日　落成式

2020 年 12 月　横浜市より認定 NPO 法人の認定
「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」着工

池川クリニック院長
産婦人科医　理事
池川　明

命の時間が限られた病気と向き合うこどもとその家族に寄り添う施設の誕生です。田川代表の熱い思いが実現した場所で、たくさんの方の命が輝くお手伝いができれば、と願っています。

聖路加国際病院顧問
小児科医　理事
細谷　亮太

建物はそれをたてた人たちの思いがこめられています。そして、出来上がった建物はこれからそれを使う人たちによって育てられてゆきます。そう思うと完成した「うみとそらのおうち」を目の前にしてシーンとした気持ちになります。

お誕生おめでとう。

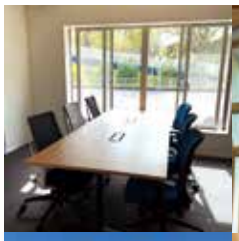
横浜小児ホスピス設立準備委員会　代表
HIDEKI　KOBAYASHI

時間という名の魔術師は僕らの前に優しく冷たく大胆に横たわり、そこには多分希望や歓びや永遠や刹那や使命がすっと隠れてる。いつかロずさんだメロディは、うみ色の瞬間とそら色の記憶と触れ合って柔らかな光の彼方に届くだろう。

人生の意味と理由はまだ不明だけど、心から、ありがとう。

開設に伴い頂いた物品のご紹介（一部）

大切に使わせていただきます！



1. 事務机・椅子	コクヨ（株）
2. ステンドグラス	
3. ベッド	（株）柴橋商会
4. 福祉車両（マルタ号）	（一財）健康とアートを結ぶ会
5. ミストサウナ	（株）コロナ
6. ブランコ（フレディ）	（株）アネビー

2021 年度事業予定

かながわボランタリー活動推進基金２１協働事業負担金事業
積水ハウスマッチングプログラム助成金・休眠預金活動事業（JANPIA）他

（1）特定非営利活動に係る事業

① 生命を脅かす病気の子どもと家族の療養生活支援施設の整備運営事業

●横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち建設及び式典
内容：こどもホスピス建設・式典開催
日程：令和３年 11 月 21 日落成式典
場所：横浜市金沢区六浦東１丁目 49 番５号

●横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち整備運営
内容：施設開設研修・運営（ホスピスケア提供）
日程：令和３年 10 月 31 日竣工・12 月から施設運営

●ワークショップ開催
内容：壁画塗装ワークショップ
日程：令和３年 11 月７日

●相談事業
内容：家族からの相談（医療的・心理的）
日程：令和３年 11 月～令和４年３月

② 小児緩和ケアに関する実態調査や啓発及び普及活動

●こどもホスピス啓発イベント
内容：こどもホスピスフェスティバル（コンサートの開催）
第４回全国こどもホスピスサミット（共催）
日程：令和３年４月 29 日・令和４年２月 11 日

●教育機関における普及活動
内容：小中学校におけるいのちの授業の開催等
場所：横浜市金沢区内小・中学校

●プレオープンセミナーの開催
内容：施設内覧を兼ねたミニセミナー
日程：週１回の開催

●地域交流 Day の開催
内容：地域住民に向けたイベント・交流会
日程：令和３年 11 月 28 日

③ 小児緩和ケアに関する人材の育成に関する事業

●病児と遊びの研究会
内容：病気や障がいがある子どもとの遊び方の研修など
日程：年度内３回（令和３年７月３日、12 月 11 日、２月５日予定）

●こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム
内容：小児緩和ケアを体系的に学ぶ
日程：令和３年５月 15 日～ 16 日（横浜）

●小児緩和ケアネットワークカンファレンス in Yokohama
内容：生命にかかわる病気の子どもや家族が直面する課題解決のための勉強会
日程：毎月第２水曜日
ワークショップ（令和３年９月８日・12 月 26 日・３月予定）

●小児緩和ケア共同研修会
日程：通年
場所：TSURUMI こどもホスピス他

ご寄付一覧

（順不同・敬称略）（2021 年６月～ 10 月末）

ご支援、ありがとうございました

【会費・寄付によるご支援者】

株式会社クラウドプランニング／ Bravissimo 美容室ブラヴィッシモ／ Kind Heart.x ／インターナショナルボランティアグループ／ゴールドリボンウォーキング実行委員会／ゾーホージャパン 株式会社／ダイショー株式会社／サルマン株式会社／トルコキキョウの会／ひまわり交通　株式会社／ヘアーサロン　タカギ／ヘアーサロンまもるん／ベーカリーハウス　アオキ／モルガン・スタンレー MUFG 証券 株式会社／リョーコーホーム株式会社／レディーバード／阿部 貴光／安井 渚／安達 かほる／安藤 弘子／安藤 陽子／安保 さよ子／井手 美紅／井上 啓子／井上 恵／井上 秀枝／井上 富士子／井上 玲子／井川 さおり／磯ケ谷 勢都／磯畑 翔／一般財団法人全国学生保障援助会／一般社団法人 横浜市薬剤師会／稲部 澄子／茨木 良枝／右松 晶子／羽鳥 廣法／臼井 歩／浦川 富二子／永瀬 富士子／永田 明子／永禮 香代／榎本 義秀／園田 誠一／園部 かおる／ハスキン めぐみ／遠山 伸子／遠藤 綾子／遠藤 恭子／塩治 由美子／奥村 美由／横山 尚美／横山 朋美／横須賀青果物株式会社／横田 碩子／横浜ビル建材 株式会社／横浜みなと－馬車道ライオンズクラブ／横浜港南台ライオンズクラブ／岡山 幸弘／岡山建設 株式会社／岡田 英明／岡本 幸江／沖野 和正／下道 知世乃／加藤 早恵／加藤 磨理子／加藤 茂雄／加藤 友紀／河村 ふゆき／河野 鈴児／菓匠 栗山／我妻 慶祐／絵手紙シールぺたんネッ人／開田 脩平／樫木 暢子／株式会社 アールケイエンタープライズ／株式会社 キクシマ／株式会社 シバスタッフ／株式会社 スマイルワン／株式会社 ヨコレイ／株式会社 安藤建設／株式会社 横浜銀行／株式会社 吉永商店／株式会社 杉浦商事／株式会社 創友／株式会社 徳建／株式会社 浜銀総合研究所／株式会社ＣＥＳ．緑研究所／株式会社 KEIT ／株式会社ありあけ／株式会社イデュース／株式会社ソシオコーポレーション／株式会社レクイエ／株式会社横浜アストレア／株式会社柴橋商会／株式会社第一保険センター／貫井 孝雄／関 悦雄／関口 眞由美／丸茂 弘子／岩田 慶隆／岩本 ひろみ／岩本 烈子／亀井 めぐみ／亀井 洋子／菊谷 秀子／マクドナルド 美樹／吉田 あけみ／吉田 うらら／吉田 寛丸／吉田 賢一・聡／吉武 敦／吉野 ゆかり／久保田 一男／久保田 龍士・綾／久木田 務／及川 浩次郎／宮下 一紗／宮本 弘子／牛田 毬子／橋本 博文／芹田 俊雄／金城 敦子／熊谷 真由子／熊谷 文尚／熊谷 明子／熊澤 明日香／粂 みち代／栗原 慎子／栗原 眞弓／月足 新／原 純一／原 尚子／原 尚正／原田 恵美子／古市 真由美／古都 美智子／古澤 光恵／公益財団法人 原田積善会／公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会／弘誓院／江口 るみ子／江成 道子／溝呂木 亜矢子／甲斐 明子／肱岡 あさ子／荒木 さよ／荒木田 百合／行松 泰弘／高岸 典子／高橋 孝子／高橋 香／高橋 瑞穂／高原 登代子／高市 方子／高島 麻衣子／高尾 節子／高林 奈津子／黒木 裕子／黒澤 信男／黒澤 千晴／今井 博子／今村 恭子／今野 弘子／佐々木 ゆみこ／佐々木 恵子／佐川 るり子／佐藤 とく／佐藤 貴虎／佐藤 佐栄子／佐藤 順子／佐藤 千鶴子／佐藤 朝美／佐藤 優／佐藤 和子／佐伯 恵美子／佐

伯 雄治／斎藤 なほみ／シスターキャサリン／細井 好美／細野 正道／三鬼 あかね／三晃商事株式会社／三崎 洋輔／三田 紗眞心／三菱電機ビルテクノサービス株式会社／三輪 智恵美／山岸 千彰／山口 みどり／山口 薫／山口 次朗／山口 千恵子／山口 茂隆／山室 宗作／山谷 和明／山田 洋子／山田 洋之／山本 一宜／山本 史子／山本 宗男／山本 晶子／山本 千晴／山本 典子／山本 博子／山野 郁子／山縣 久美子／山﨑 まどか／山﨑 直子／山﨑 眞理江／市原 早苗／志澤 直樹／児島 壽子／持田 加容子／鹿嶋 美由紀／篠原 佐久夫／篠原 佐和子／篠崎 暁子／芝沼 通秀／若狭 静枝／若月 絢加／手塚 はな／手島 美由紀／宗教法人 弘明寺／宗藤 真司／秋山 みどり／秋山 学／秋山 康介／秋山 理央／重見 真由子／出口 優子／潤井 眞理子／勝烈庵／小笠原 裕子／小館 貴幸／小久保 幸子／小山 桂子／小山内 律子／小松 史歩／小瀬村 芳明／小泉 友律／小谷 和枝／小田切 利夫／小島 桂子／小峰幼稚園／小野 佳子／小野 淑子／小野寺 百合子／小林 剛／小林 秀多／小林 妙子／小和田 貴代子／小澤 貴子／小濱 智代子／松井 秀文／松崎 雅美／松村 清美／松田 正治／松田 夕加里／松尾 宏之／松本 信子／松澤 佐知子／沼沢 静江／沼田 梓／上原 順子／上瀧 大／上田 三千代／上田 美代子／城 博俊／新楽 和則／新堀 晃／新堀 史明／森 智恵子／森医院こどもクリニック／森田 知子／神崎 絢子／神谷 厚子／神林 悦子／諏訪 理絵／須藤 渉／水口 幸治／水田 英朗／杉本 郁子／杉本 和子／杉目 敦子／菅原 陽子／菅野 孝志／成富 育子／星 陽子／西岡 麻子／西岡 陽子／西出 由実／西松 京子／西村 博子／西尾 真奈美／西野 均／西留 敦子／レニハン　ショーン・ショーン　倫子／青山 治子／青木 礼子／青柳 充彦／斉藤 昇／斉藤 達也／石井 康博／石井 真澄／石井 智巳／石井 文子／石坂 起久美／石森 恵美／石川 基子／石川 孝司／石川 令子／石村 由利子／石田 光和子／千葉 豊／川口 記代美／川口 昌一／川崎西ロータリークラブ／川平 有紀／川本 絵里／泉水 恭子／泉川 達也／浅岡 浩行／浅村 澄子／前川 真由美／曽根田 功／倉林 実／壮健堂治療室／相村 啓子／村井 一夫／村井 寿成／村上 恵美子／多田 雄真／太田 祐輔／太田 里美／大園 めぐ／大久保 照子／大崎 逸朗／大山 行雄／大石 賢二／大村 和枝／大嶋 博之／大野 さと子／大野 乃里子／瀧口 秀之／谷 紫寿／池川 明／池田 仁子／池部 恒司／竹沢 佐知子／竹内 江里那／中山 香／中重 治美／中神 幸子／中川 ひとみ／仲村 慶一／仲田 裕子／猪俣 奈央子／猪又 竜／朝日 拓人／長瀬 亘宏／長谷川 貴子／鳥澤 竹彦／鎮目 一幸／津山 徹平／坪井 俊憲／鏑木 陽子／天村 道子／天野 功二／田口 浩一／田上 尚志／田川 正志／田川 徹／田村 泰治／田中 佳子／田中 真能／田中 総一郎／田中 朋子／田島 玄太郎／田嶋 和則／田波 紘子／渡辺 さなえ／渡邊 陽子／渡邉 瞳／渡邉 美貴／都留 健司／土谷 浩美／島崎 友樹／島村 早織／島田 浩和／島田 初美／嶋田 年比于／東條 富美子／藤井 久仁恵／藤井 望／藤原 成子／藤原 榮子／藤谷 千賀子／藤塚 真希／藤田 寿枝／藤田 智子／藤乃巻 龍之心／藤本 綾子／藤本 義行／藤本 志のぶ／藤澤 なお子／藤澤 潤／道信 祐三子／道正 伸久／徳山 なおこ／内山 恵美子／内山 博嗣／内山 洋子／内村 慎史／鍋島 絢子／二村 千津子／萩田 ひろみ／白井 素子／白岩 剛／幡多 緑／八住 智明／飯山 泰子／飯田 愛子／飯田 朝子／飯野 幸久／尾崎 浩子／尾崎 茂子／菱沼 久美子／俵 秀雄／蛭田 りつ子／富田 弘／武 香／武舎 澄江／武川 幸子／武野 弘史／服部 陽児／福崎 令奈／福田 かおる／福田 恵利／福田 清／福島 範子／平井 武子／平出 久美子／平出 朋代／平川 久美子／平田 ゆかり／平田 良子／平野 ひかる／平野 辰子／平林 和子／米山 勝子／片野 待子／保坂 一成／保住 砂登美／芳賀 圭子／芳垣 健夫／豊田 千早／北西 真友美／北川 剛司／北川商事株式会社／北堀 美英／牧野 広幸／本橋 一樹／本多 幸子／本地 久美子／椋棒 弘子／木下 嘉昭／木下 未果子／木元 茂／木村 彰／木村 美佐枝／木村 由美／野口 徹子／野口 由美子／野瀬 美砂子／野村 忠男／矢野 久美子／柳田 美智保／有限会社 パレアナ／有限会社 湘南仲介センター／有限会社仁天堂薬局／有住 理恵／有田 佐智／輿石 且子／鈴木 英樹／鈴木 乙史／鈴木 淳子／鈴木 将彦／鈴木 道弘／鈴木 美希子／鈴木 明美／蓮見 俊夫／麓 理恵／和栗 純子／和田 都／和田 祐介／脇田 慎司／脇島 千晶／脇本 正和／國武 洋子／廣瀬 裕里子／檜佐 幸子／榮田 育子／櫻井 時子／淺木 紗綾子／燧 淳子／齋藤 あゆみ／齋藤 綾子／羽上田 裕子／鬮見 文彦

【開設に伴い備品協力頂いた支援者】
株式会社　ダッドウェイ／ CTP　JAPAN 株式会社／一般財団法人健康とアートを結ぶ会／株式会社アネビー／株式会社柴橋商会／コクヨ株式会社／キハラ株式会社／コールマン ジャパン株式会社／田辺三菱製薬株式会社／株式会社 セガトイズ／株式会社匠工芸／株式会社　コロナ／株式会社　メディディア／横浜港南台ライオンズクラブ／竹内運送株式会社／ Amazon ／株式会社小林工芸社

【落成式協賛】
医療法人横浜未来ヘルスケアシステム／大洋建設株式会社／株式会社メモワール／株式会社　柴橋商会／田辺三菱製薬株式会社／ホンダカーズ神奈川中株式会社／株式会社ダッドウェイ／株式会社アネビー／一般財団法人健康とアートを結ぶ会／リョーコーホーム株式会社／株式会社ヨコレイ／ベーカリーハウス・アオキ／株式会社不二家／株式会社　せんざん／株式会社ありあけ

【よこはま夢ファンド】
昨年 4 月分より寄付者様のお名前・金額などの公表をご希望されても寄付先団体には通知されなくなりました。お礼状をお送りすることができませんので、ご寄付の際に団体宛にもご一報いただけましたら幸甚に存じます。

【募金箱設置】
ベーカリーハウス　アオキ／スマイルガーデン／ Bravissimo　美容室ブラヴィッシモ／ビィーンズファーム／ヘアーサロン　タカギ／壮健堂治療室／山本助産院／花屋こはな／輿石且子事務所／角田宏子事務所／ Café Bar and Lunch Box SMILE(スマイル食堂）／八景写真館／八木薬局／ BAR　LUZ ／たわわや／菓匠栗山／パブ　ドレミ／境木地蔵尊

第４回全国こどもホスピスサミットのご案内

命にかかわる病気や重い障がいのあるお子さんとご家族は、不安や悲しみを抱えたまま社会的に孤立してしまいがちです。そうしたお子さんとご家族が「ひとりではない」と感じ、豊かな時間を過ごせるように支える「こどもホスピス」。各地で広がる取り組みについて、是非お聞きください。

日時　2022 年 2 月 11 日（金）14:00~17:00
会場　はまぎんホール・ヴィアマーレ（横浜市西区みなとみらい３- １- １）
テーマ　重い病気の子どもと家族を孤立させない！家族と共にあるこどもホスピスの取り組み
第１部　基調講演
　大野寿子（公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン）
　水谷　綾（公益社団法人 こどものホスピスプロジェクト）
第２部　全国のこどもホスピス活動（休眠預金活用事業実行団体の活動紹介）
　一般社団法人 北海道こどもホスピスプロジェクト
　NPO 法人 東京こどもホスピスプロジェクト
　社会福祉法人 東大寺福祉事業団
　NPO 法人 福岡子どもホスピスプロジェクト・福岡ファミリーハウス
　認定 NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト
主催　一般社団法人 希望を未来につなぐプロジェクト
共催　認定 NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト
参加費　1000 円（オンラインは +209 円手数料）
申込　https://www.hopemakesfuture-project.org/4th_childrenshospicesummit

申込はこちらから

★会場またはオンラインでの参加が可能です★

支援のおねがい

【寄付で支援する】
いつでも自由な金額でご寄付をいただいております。

【毎月の寄付（マンスリーサポーター）】 ※クレジットカード決済のみ
毎月定額のご寄付で継続的に支援する方法です。決済方法はクレジットカードのみです。毎月自動引き落としです。

【毎年の寄付（賛助会員年会費）】
会員として活動を継続的に見守り支えてくださる方を募集しています。

①個人：年会費　１口 5,000 円から
②法人・団体：年会費　１口 10,000 円から各種プランがございます。お気軽にお問い合わせください。

【振込先】※ご住所を必ず明記してください。追って領収書を送付させていただきます。

◎横浜銀行
支店名　本店営業部　普通預金口座番号　6173770
口座名義　特定非営利活動法人横浜こどもホスピスプロジェクト

◎ゆうちょ銀行
振替口座　００２６０－９－１０４５１８
口座名義　NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト

◎ゆうちょ銀行以外の他の金融機関からの振込の場合
ゆうちょ銀行　店名０２９（ゼロニキュウ）、預金種目：当座、口座番号：0104518
口座名義：NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト

寄付はこちらから

※　寄付金、マンスリーサポーター、賛助会員年会費は税額控除が受けられます。
※　遺贈の相談も承っております。

●英語版寄付フォームができました！
決済はクレジットカードのみですが、海外の住所も入力可能です！
寄付フォーム：https://childrenshospice-yokohama.secure.force.com/en/

海外からの寄付はこちら

会報発行者：認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト
〒 236-0037　神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-49-5
TEL ＆ FAX：045-353-3153　e-mail: contact@ykh.jp　http://childrenshospice.yokohama/
編集制作：株式会社ユック舎

会報誌は「休眠預金活用事業」の助成金で制作されています。